

I 教育理念・目的・育成人材像			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
理念・目的・育成人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・目的・育成人材像は定められているか ・育成人材像は専門分野に関連する業界等のニーズに適合しているか ・理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか ・社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか 	2.6→2.4	5期生の地域・在宅看護論実習（新カリキュラム）を実施し、関連業界等からの協力も得られ、学生の学習到達度からも理念等の達成に向けた教育活動に取り組めたとと言える。しかし、社会のニーズに応えられる人材を育てようと将来構想を定めていても、実習だけでなく、社会生活において、学生だけでなく保護者も含め予想以上の教育的関わりを必要とし、職業実践教育への取り組みや、将来構想をさらに周知してもらう必要性を感じ前期よりも平均値が低下していると思われる。

II 学校運営			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
運営方針 事業計画 運営組織 人事・給与制度 意思決定システム 情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ・理念に沿った運営方針を定めているか ・理念等を達成するための事業計画を定めているか ・設置法人は組織運営を適切に行っているか ・学校運営のための組織を整備しているか ・人事・給与に関する制度を整備しているか ・意思決定システムを整備しているか ・情報システム化に取り組み業務の効率化を図っているか 	2.1=2.1	前期同様、運営組織、人事・給与制度に関して平均値が低い状態である。学校運営に携わる職員として業務改善に取り組み、各々の役割を果たす努力は積み重ねられている。 後期においてもコロナ禍の影響は続いており、実習での目標達成に向けての取り組みが必要であった。コロナ感染により欠席しなければならぬ学生は、リモートで授業を受けるなど情報管理システムの活用ができていたこと、ネットワークの整備、業務処理のシステムの構築がされており、前期よりも中項目の情報システムは平均値が高くなっている

Ⅲ教育活動			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
目標の設定 教育方法・評価等 成績評価・単位認定等 資格 免許の取得の指導体制 教員・教員組織	<ul style="list-style-type: none"> ・理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか ・学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか ・教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか ・教育課程について外部の意見を反映しているか ・キャリア教育を実施しているか ・授業評価を実施する体制を整備しているか 	2.2→2.3	<p>前期は、成績評価・単位認定等、資格・免許の取得の指導体制では、前年度との比で著しく低い評価になっていたが、後期は上昇している。成績評価の基準を適切に運営するために、会議で客観性・統一性の確保に取り組み、新カリキュラムにおいては、再度、諸規定の見直し等を行い学生のレディネスに沿うように考えられた結果と思われる。資格・免許の取得の指導体制では、後期はより学習支援を中心に有効な指導方法や指導体制を構築し、学外の講習も継続している。各科目領域の学習支援も計画されており、実施している段階である。不合格者に対する指導体制も整備されている。この一年の取り組みとして効果が表れてくれることを期待したい。</p> <p>前期同様、教員は専門性の質が低下しないよう努力は怠っていないものの、コロナ禍の影響に加え教員自身に余裕がないせいか、教員の資質向上への取り組み、教員の組織体制の整備に対しては変化があまりない。キャリア教育の実施に関しては、より専門的な教育内容で外部講師をお願いしているところがあるが、独立した科目としての考え方や、キャリア教育の効果についての評価は、努力が必要と評価されている</p>

Ⅳ学修成果			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
就職率 資格・免許の取得率 卒業生の社旗的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格・免許取得率の向上が図られているか ・卒業生の社会的評価を把握しているか 	2.1=2.1	<p>前期より平均値は変わっていない。就職や社会的評価に関して管理者が関連施設と連携し整備、把握されている。資格・免許取得率を向上させるための方策としては強化され、各学年の学習支援を中心に目標を定め授業を補完する学習課題を計画的に提示することは継続している</p>

V学生支援			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
就職等進路 中途退学への対応 学生相談 学生生活 保護者との連携 卒業生・社会人	<ul style="list-style-type: none"> ・就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか ・退学率の低減が図られているか ・学生相談に関する体制を整備しているか ・学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか ・学生の健康管理を行う体制を整備しているか ・保護者との連携体制を構築しているか ・卒業生への支援体制を整備しているか ・産業連携による卒後の再教育プログラムの開発実施に取り組んでいるか ・社会人にニーズを踏まえた教育環境を整備しているか 	2.0→2.1	<p>前期との比較で、中項目の中途退学への対応と保護者との連携で高くなっている評価結果が得られている。様々な退学の要因があるが、予想もしていなかった学習量や費やされる学習時間など、慣れない環境の中でできるだけ入学時に持っていた意欲を持ち続けられるよう授業を工夫し、副学校長や副主任、カリキュラム担当など相談体制を整備している。また保護者と直接連絡を取る必要がある場合は、適切な判断のもと問題の解決ができていることでの評価と言える。全体的には少し評価は高くなっているが、卒業生への支援体制の整備や産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施への取り組みに関しては、努力が必要であるとの評価がやや多い。卒業後のキャリアアップ、キャリア形成支援に取り組む体制の整備があまり充実していないと捉えている結果と思われる。卒業生・社会人の評価に関してはずっと低い、多くの学生ではなくても、一部の学生ではあっても相談等には応じることができている。</p>

VI教育環境			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
施設・設備等 学外実習・インターシップ等 防災・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか ・学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか ・防災に対する組織体制を整備し適切に運用しているか ・学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか 	1.9→2.1	<p>後期は、コロナ禍による制限が少し緩和されたことで、秋のレクリエーションや学外学習が実施でき高い評価が得られている。トイレの改修工事が行われたことは、後期の寒い季節を迎え寒さによるストレスが最小限におさえられている。またインターネット環境を整備し、学生の学習効果に影響がないようインターネット環境を整備し適切に実施できる取り組みは継続できている。実習室や防犯体制に関する整備は今後も継続する。老朽化に対しては、学生の安全面も考えメンテナンス体制の整備が必要である。</p>

VII学生の募集と受け入れ			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
学生募集活動 入学選考 学納金	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校等接続する教育機関に対する情報に取り組んでいるか ・学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか ・入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか ・入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか ・経費内容に対応し、学納金を算定しているか ・入学辞退者に対して授業料等について適正な取り扱いを行っているか 	2.2→2.3	低かった入学選考の評価が後期は高くなっており、今年の入学選考にあたっては、定められた規定等に基づいて運用し、合否判定体制の整備においては、多くの時間を費やし、アドミッションポリシーに基づいた受け入れができていると教員各々が認識できたのだと思われる。学納金の算定や授業料等の適正な取扱いに関しては問題ない。

VIII財務			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
財務基盤 予算・収支計画 監査 財務情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> ・学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか ・学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか ・教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか ・予算及び計画に基づき適正に執行管理を実施しているか ・市立学校及び計画に基づき適切に監査を実施しているか ・市立学校法に基づく財務情報公開体制を整 	1.8=1.8	平均値は前期と変わらない。前期までは努力が必要という回答が多かったが、後期は”普通”と答えている評価が多い。財務分析を行っているとは言えないが、コスト管理、収支の状況については職員として考えている。

	備し適切に運用しているか		
--	--------------	--	--

IX法令等の遵守			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
関係法令、設備基準等の遵守 個人情報保護 学校評価 教育情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> ・法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか ・学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか ・自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか ・自己評価結果を公表しているか ・学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか ・学校関係者評価結果を公表しているか ・教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか 	2.2➡2.4	中項目全体的に前期よりも評価がわずかに高くなっている。関係法令、設備基準等の遵守が低値を示していたが、それらに基づいて学校運営に必要な規則・規程等を整備し、遵守することへの方針・姿勢に対する教員間の認識が統一された。また、自己点検自己評価結果を会議で提示したことで、評価の視点が少し具体的になり高い評価が得られたと思われる。教育情報の公開では、積極的な情報提供の取り組みは継続しており、前期に続き情報提供を通じて本校の社会的評価が確立していくよう努力は続けている。

X社会貢献・地域貢献			
中項目	小項目	前期との比	現在の状況（結果が示していること）
社会貢献・地域貢献 ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか 	1.3➡1.5	新カリキュラムがスタートし、学生は地域・在宅看護論実習として初めて社会を体験している。その学習成果が社会に還元できるかどうかは今後まだまだ見守っていく必要があるが、意義のある貢献が行えるよう教育的関わりを継続していく。コロナ禍の影響により社会貢献・地域貢献のための活動を行うには難しい状況がまだ続くと思われるが、学生自身がボランティア活動に積極的な姿勢を示してもらえよう関りは続けていく。